

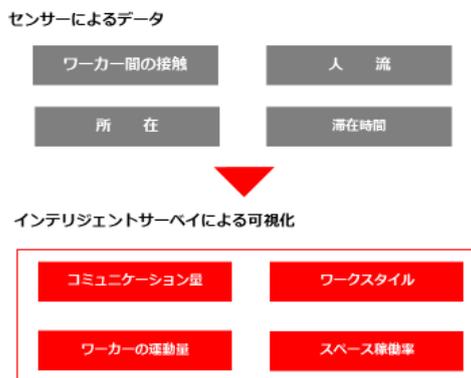
— 三井デザインテックの新たなソリューション —
センサーを活用したコミュニケーションの測定ツール
「インテリジェントサーベイ」の開発を開始
 — オフィスでのコミュニケーションを可視化し、課題を顕在化

三井デザインテック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渋谷 忠彦）は、コミュニケーションの可視化ツールとして、IoT 対応の最先端のセンサーを活用したコミュニケーションの測定ツール「インテリジェントサーベイ」の開発を開始します。

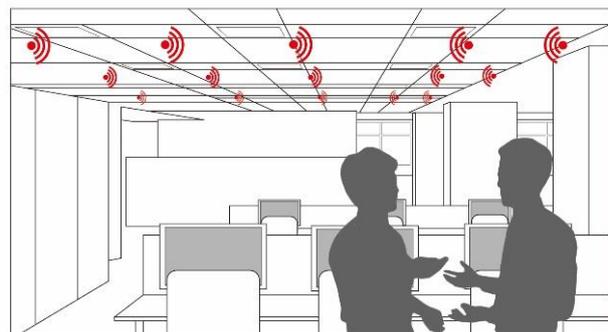
オフィスを創造する三井デザインテックでは、経営者層とオフィスワーカーに対して、オフィスやワークスタイルへの考え方に関する定量調査を実施しています。その調査において、93%のオフィスワーカーが「円滑に仕事を進める為には、コミュニケーションが重要」と回答するなど、多くの企業には共通して「オフィスでのコミュニケーションの活性化」が重要視されています。

そこで、三井デザインテックは、株式会社日立ソリューションズとともに、最先端のセンサーを利用し、オフィスにおけるワーカーの動きを常時感知することで、オフィスのどこで、誰と誰が、どの程度コミュニケーションを行っているかを定量的に把握し、可視化する測定ツール「インテリジェントサーベイ」の開発を開始します。これにより、各部署のコミュニケーションの量や場所を分析し、状況を可視化することで組織運営への活用、スペースや運用面の改善などに役立てることを目指します。

当該センサーは温度、赤外線、Bluetooth を感知し、ワーカーの人流・所在・滞在時間等の情報をデータ化します。膨大なデータをデジタル信号処理し圧縮することで、豊富な情報を取得、かつ画期的なワイアレスネットワークにより、何千ものセンサーをクラウド上管理することによりリアルタイムでデータを蓄積、確認することが可能です。



上図：提供されるサービス



上図：センサーにより位置情報を把握

また、この「インテリジェントサーベイ」では、コミュニケーション測定以外にも「ワーカーの行動（運動量）」、「スペース利用状況」や、業務時間内の会議時間や集中時間の割合や時間帯といった「一日の働き方」などをデータ化することも可能としていきます。

三井デザインテックは、自社が提供するオフィスデザインコンサルティングに加え、この「インテリジェントサーベイ」を活用することにより、企業が抱えるオフィス内コミュニケーションの具体的な課題の顕在化や、オフィス改修後の効果測定、より効率的なオフィスレイアウトの検証を行い、継続的なファシリティマネジメントサービスに結びつけることを目指します。なお開発に先立ち、本年7月頃より三井デザインテックの自社オフィスにてセンサーを設置し実証実験を予定しております。

■三井デザインテック株式会社について

三井デザインテックは、主に住宅・オフィスをはじめとして、ホテル・医療・福祉・学校・賃貸マンションなど、あらゆる生活・事業に必要な施設のインフィル（内外装・設備・間取り）の創造を手がけ、お客様に「心地よい、満足できる空間」をご提供しています。最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。<http://www.mitsui-designtec.co.jp/>

■株式会社日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客様の業務ライフサイクル全般にわたり、豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する「ハイブリッドインテグレーション」を実現します。国内の主要拠点に加え、海外では中国・アジア、北米、欧州のグループ会社を核として、ワールドワイドにお客様に価値の高い製品・サービスを提供しています。<http://www.hitachi-solutions.co.jp/>